

牛久市社会教育委員会議事概要		日時	令和4年11月17日（木曜日）
件名	令和4年度第2回社会教育委員会議	場所 時間	中央図書館 視聴覚室 13:30～16:00
作成年月日	令和4年11月20日（日曜日）	作成者	生涯学習課：横瀬 幸子
出席者	(出席委員)	武田直樹、種子田孝子、田井鉄男、高野しのぶ、松田元、唯根勉、前田栄子、佐々江健治、上田晃生	
	(牛久市)	教育委員会次長兼スポーツ推進課長 高橋頼輝、中央図書館長兼生涯学習課長 斎藤正浩、文化芸術課長 糸賀珠絵	
	(事務局)	生涯学習課 主任 横瀬幸子、会計年度任用職員 秋山尚子、小松澤美香、社会教育指導員 岡野あつ子	
	(傍聴者)	なし	
(順不同・敬称略)			
議事内容	1) 「第1期牛久市教育振興基本計画取り組み状況及び進捗状況」について 2) 社会教育関連事業補助金・交付金について		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 挨拶（議長） 3. 議事 1) 「第1期 牛久市教育振興基本計画取り組み状況及び進捗状況」について 上記における中央図書館所管事業の取り組み状況及び進捗状況について、中央図書館長より資料に基づき、振興基本計画内の施策(2)図書館機能の充実(P48～P49)、(4)地域人材の育成(P54～P55)について説明。 2) 社会教育関連事業補助金・交付金について 生涯学習課、文化芸術課、スポーツ推進課における補助金・交付金について、各課長より説明。			
【質疑等】「第1期 牛久市教育振興基本計画取り組み状況及び進捗状況」について			
委員	コロナの影響で図書館利用者数が減少したとしているが、資料を見ると貸出数が年々減少してきている。コロナによって減少が加速したのか？今は魅力的なメディアがあるために、本を読む機会が減ってしまったのか？		
担当課長	コロナによる休館等から来館者数が減少しました。しかし、貸出期間を2週間から3週間に伸ばす、貸出冊数を10冊から30冊に増やすなど、来場者数の減少に比べると貸出点数は大幅に落ち込んではいない状況です。確かに今は色々な楽しみ増えているので読書離れが進んでいるのかなと思いますが、幼少期からの読み聞かせなどに力を入れて読書習慣を身に付けていきたいと考えています。		
委員	資料の中で、成果指標に対する目標値が設定されていますが、目標値達成が難しいもの、若しくはクリアできそうな指標について教えてください。		
担当課長	レファレンスの受付件数などは令和2年度で7498件ですので大分近い数値だと思います。達成が難しいのは、中高生の貸出冊数とおはなし会の参加者数です。おはなし会は人数制限をしたこともあり減ってしまいました。制限を解除すれば回復をするかなと思いましたが、参加する年代の子どもが大きくなって来なくなった、また、今参加する子ども世代の親たちがおはなし会自体を知らないこともあり伸び悩んでいます。目標値については検証をし、今後について考えてまいります。		

委員	絵本の楽しさを知った子どもは何回でもおはなし会に参加してくれる。図書館で親以外の大人が語る物語の面白さや同じ物語でも違う人が語ると違う物語に聞こえたりするので、子どもはその魅力にとりつかれる。子どもは美しい日本語や、きれいな絵本を聞くために集中するので、その時間は子どもにとって大事な時間であり、読み手も何度も何度も練習をするので、とてもかけがえのない時間である。統計的に人数が減ったとしてもおはなし会を続けてほしいと思います。
担当課長	絵本ベースにしたエプロンシアターや本を用いない素話などは想像力が高められると思っています。素晴らしいイベントなので今後も続けていきますし、多くの方に聞いてもらいたいと思います。
委員	コロナによって入館者数が減っているが、具体的にはどのようなことを行っていこうと考えていますか。
担当課長	これまでも図書館に足を運んでもらえるように、楽しいイベントやEスポーツ、高校生による書道パフォーマンス、図書館まつりを行っています。市内でも大きなイベントが行われてきているので、来年は大人数を呼ぶようなイベントを開催しようと考えています。コロナ禍でも「おしいれのぼうけん」という絵本の絵画展を開いて撮影可能にするなどフォトジェニックなスポットを作ったりなどの取組をしています。
委員	きぼうの広場と連携して図書館における不登校児童生徒の居場所づくりに取り組んでいるとありますが、今はどのようになっていますか。
担当課長	居場所コーナーはありますが、特にその子たちが居るといよりも、不登校の子どもを抱える親が読む本を揃えています。また、実際に不登校の子ども達も来ており、来た場合にはシールをあげるなど、コミュニケーションもしています。現在は2名のお子さんが来ています。
委員	図書館にこのような場所があるのは非常に良いと思う。不登校のお子さんは学校へは行けないけど、図書館は学校と違う場所だから来やすいのかなど。図書館に来たら出席したことになることから、段々と心を開いて学校へ行けるようになるかもしれない。
社会教育関連事業補助金・交付金について	
委員	コロナによって予定通りの行事を行うことができない状況によって補助金を返還する団体もあるとのことですが、団体の中で代替わりして事業経験者がいないので事業を実施しなくてもいいのではないかなど、団体も困惑している。
担当課長	無理に使う必要はないと思いますが、有効に活用していただきたいと思います。
委員	補助金名称を婦人会というネーミングではなく、ご夫婦とか子どもと一緒に活動できる地域活動の活発化を目指しているというイメージを印象付けられるようになると良い。 ふれあい牛久沼文化の集いは三日月橋生涯学習センターで活動している団体の活動発表に対し交付しているが、他の奥野生涯学習センターとかへの補助金も、この補助金に含まれているのか。
担当課長	奥野生涯学習センターでも活動をしている団体はあるが、委員会を作って実施しましょうという団体がいない。今後、団体ができて補助金の要望があれば検討していきたいです。また、婦人会の活動が停滞してきていることは確かですが、活動を続ける意思があり実際活動している。それがコミュニティの場になっているのであれば、地域活性化の一つとして補助金を交付することも良いと思っています。
委員	補助金名称に交付する団体名称がついていると、その団体以外は補助金を使えなくなる。同じような団体が受けられるよう枠を広げたほうが良い。
委員	婦人会への補助金で、以前補助金を受けていた団体が高齢化や指導的人物が不在ということで補助金を辞退してきたとのことだが、それならば地域で活動する次の人材を育成する必要があるのではないかな。仕組み作りを考えてほしい。
委員	子ども会も補助金をいただいているが、コロナの影響で事業ができずに返金をしました。今、子ども会の数も減ってきており、脱退の理由は役員のなり手がいないという理由です。時代にそぐわない活動の見直しなどをしていますが、これからは色々な団体と連携が取れるようになればありがたいなと思います。
委員	牛久市は子ども会活動への助成が厚いです。つくば市では助成は一切なしと聞いています。子ども会活動助成は非常にありがたいことなので、生きたお金の使い方をしないとと思います。
委員	文化芸術課のエスカードシネマクラブに関して、映画の内容はほぼ大人向けだと思いますが、子ども向けの映画は上映しないのですか。青少年育成牛久市民会議では親子で参加できる映画鑑賞会を3月に開催しています。子ども向けの映画を上映すれば、会員の増員にもつながるのではないのでしょうか。
担当課長	子ども向けは特別上映会として行っています。エスカードシネマクラブは平日の木曜日が上映日のため、ファミリー層は来ないです。色々な映画を取り混ぜたほうが会員の増加にもつながると考えていますので、実行委員へも提案してまいります。

委 員	例えば、休日会員とかを作って親子で来てもらうような場を設けるという考えもあるかなと思います。
委 員	一昔前までビエンナーレ全国公募展を行っていましたが、突然無くなってしまった。非常に残念に思うのですが。市としてはどのように考えているのでしょうか。
担当課長	ビエンナーレは 10 回の節目のところまで開催しましたが、実行委員より継続するのが難しいという申し出がありました。公募した作品の保存や著作権の問題等で難しいということになりやめたということです。
委 員	スポーツ推進課の補助金で、うしくっ子体力向上プロジェクト実行委員会補助金の話がありましたが、この事業は良い取り組みだと思いました。
担当課長	今回のプロジェクトはいろいろな種目を経験して体の動かし方を学ぶという点を目指して取り組んでいます。今回は中根小学校だけでしたが、いろいろな子どもたちに経験してもらいたいので募集や告知の方法を検討していきたいです。
委 員	中学校における地域スポーツクラブについて説明をお願いします。
担当課長	休日の部活動を学校から外して地域のスポーツ活動に移行しようというものです。国からは令和 5 年の 4 月から段階的に導入し令和 8 年 3 月までに完了しようという話がありますので、牛久市でもそのように進めていこうとう方向にはなっています。進めるにあたっては指導者の確保が問題となります。各校の部活動に指導者を当てられるといいのですが、今すぐは無理な状況です。地域スポーツに移行することは学校管理下から外れるので、受益者負担が発生することにもなります。こういった点も含めて今検討を進めている状況です。何よりも人材確保が必要ですので、人材バンクの設立なども視野に入れて、令和 5 年 4 月から移行できるよう準備を進めている段階です。